

健康と光線

抗加齢に光線浴

私事で恐縮ですが、私は昭和十年生まれですから、数えで七十四歳になります。還暦はとうに過ぎましたが、もう一回り後の十二年後といわず、生きていく限り百寿を迎えるまで、五体満足でボケないでいたいと思っています。本紙をご購読いただいているサナモア愛用者の中に、私と同世代の人は沢山いらっしゃると思いますが、ぼちぼち加齢に伴う身体機能の低下、知的学習能力、記憶力、集中力の衰えを自覚させられますから、大なり小なり同じような思いを抱くのではないでしょうか。

加齢は何人も受け入れざるを得ないものですが、加齢現象の進行は極めて不均一で高い個人差があります。そのため加齢に伴

う衰えに拮抗する抗加齢対策として、さまざまな提言がなされていますが、光線浴を見落とすとしたら画竜点睛を欠くと考えています。光線

浴を日々の習慣にすれば、

加齢で低下する機能が活発に働くようになるだけでなく、加齢を促す病気を予防

する効果もありますから、抗加齢効果が期待できるからです。

加齢現象は機能の低下

昨今、加齢に伴って〇〇が不足するから、それを補えば若返ると言う類の話が流行っています。この手の話には若返り願望

サナモアで健康・長寿

— 避けなければならぬ光線不足 —

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

が叶った体験談が付いています。が、身体はそのまま吸収して不足を補うほど単純ではありません。加齢で〇〇が不足するのは、

い頃と比べて、加齢でコラーゲンを生成する繊維芽細胞と呼ばれる細胞の機能が低下するため不足するのです。光線は繊維芽細胞の低下した機能を高めるように働きます。

ところで光線不足が病気の原因になることはクル病で発見されましたが、光線はすべてといっても過言でないほどさまざまな機能の働きを支配しています。

そのため光線不足はさまざまな病気の危険因子になります。加齢現象を促す影響は強く出ます。すなわち健康、長寿を願うなら、機能の低下を招く光線不足は絶対に避けなければなりません。

安全管理に努めて下さい

平成17年4月1日に施行された改正薬事法では、医療機器の製造販売業に従事する業者に対

して、安全管理を徹底するように強く求めています。私どもも安全にお使いいただけるように改善に努めてまいります。サナモア光線療法はご存知の通り、摂氏三千度でカーボンを燃焼させて、太陽光線に近似した光線を得ています。したがって皆様方におかれましても取扱説明書に記載した注意事項を必ずお守りいただき、使用に際して火災、火傷には特段のご注意をお願いいたします。

なお高齢者は肢体不自由になることが少なくなく、また知的機能や精神機能の低下がある場合も少なくないため、ご家族が十分に監視して治療をするようにして下さい。

(四面を参照して下さい。)

迎春

平成二十年 元旦

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院
(五日より営業します)

一病息災 一病息災

坐骨神経痛

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

坐骨神経痛は、中年以降の世代の方にとってはごく身近な病気で、腰部、臀部、大腿部から足にかけて、坐骨神経の走行に沿って、激しい痛みを呈することが特徴で、様々な原因により引き起こされますが、原因のほとんどを占める腰部脊柱管狭窄症が、坐骨神経痛と同義的に扱われることもあります。

脊柱は、24個の椎骨(頸椎7、

症 例：73歳、女性。

主 訴：腰痛。歩行時に右臀部から下腿部にかけて痛みとしびれ。

起始・経過：以前から腰痛を自覚していたが、最近、歩行時に下肢の痛みも認めるようになっていた。近医では、変形性脊椎症と診断されて、投薬を受けていたが、病状の改善が思わしくないため当院を受診。

治 療：側臥位にて45分、5灯照射。

腹部(BD)、腰部(BD)、臀部～大腿背部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)。

経 過：治療を開始してから、数回で腰痛は軽くなる。10回の治療が終了した頃から、下肢の痛みとしびれが軽くなってきたため、自宅での光線治療も併用開始。現在(治療30回終了)では、日常生活を支障なくおくれるまでに改善。

胸椎12、腰椎5)から構成されて、その下の仙骨、尾骨へとつながります。この椎骨という管状のブロックが積み重なって形成される脊柱には、脊柱管という脊髄神経が通る空間が形成されますが、この脊柱管という円柱状のスペースが、何らかの原因によって狭くなり、脊髄神経を圧迫することによって腰部脊柱管狭窄症は起きますのです。

この際、症状は、神経が障害されたことによって起こります

が、以下のような様々な症状を呈します。

腰痛・半数以上に認め、動いた時に症状は強くなり、安静で痛みが軽減する傾向にあります。

下肢痛・腰痛に次いで多く、痛みの範囲は、脊柱管の狭窄具合により微妙に異なりますが、痛みよりもしびれの方が強い場合もあります。

下肢のしびれ感、知覚異常・しびれの他に、冷感、灼熱感、ひきつれ感、しめつけ感など様々な知覚異常があります。

下肢の脱力感・筋力の低下を生じると、かかどが持ち上がらない、階段などでつまずく、スリッパが脱げ易いなどの症状が表れます。

尿失禁、便失禁・重症例において認められることがあります。

また坐骨神経痛と似た症状を呈するため、しばしば、鑑別が必要となる疾患に閉塞性動脈硬化症(ASO)という病気があります。この病気は、動脈硬化が原因で、腹部大動脈以下の下肢の動脈が狭窄や閉塞することによ

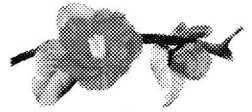
って起こり、足の冷感やしびれ感を生じます。徐々に進行し、間欠性は行や疼痛、最悪の場合には足の指の壊死をきたすこともありますので注意が必要です。

病気と光線療法

サナモア光線療法の神経痛を緩和する効果については、今さら言うまでもありませんが、超高齢化社会を迎え、このような症状でお悩みの方は確実に増えています。神経を障害する原因のほとんどは、加齢からくる骨を含めた組織の退行変性ですが、年齢的要因で生じた変化が、サナモアで元通りになることはありません。ただ、紫外線の効果により、骨は再構築を促され、赤外線消炎鎮痛作用で痛みが緩和されることは、紛れもない事実です。

サナモアを日頃から照射することによって、退行変性の予防にも役立ち、抗加齢効果を期待できますので、是非、痛む前からの使用をお勧め致します。

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.32

宇都宮 正範

第十三期

サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ

明けておめでとございます。サナモア光線治療院も、皆様のお蔭をもちまして、八年目の正月を迎えることができました。本年も前年同様、サナモア光線協会の中心的な事業であるサナモア光線治療師養成講座を、七月に開講する予定でおり

ます。光線治療院の開業をご検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、サナモア光線治療院（〇三二五五九一三七一〇）までご連絡下さい。なお、日程等の詳細につきましては、次号に掲載させていただきます。

第二十七回

「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治療例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日 時：一月二十六日(土)

午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院

三階会議室

治療院&

治療師紹介

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得さ

れ、光線療法の啓蒙・普及活動に携わっている先生方をご紹介させて頂いております。

◇光線とともに◇

小暮 澄江 治療師十一期



電話：〇四五―九五―一三四七六

住所：横浜市旭区

都岡町三十一―八

一言：約二十年前に腰痛を患った際、主人の出張先の新潟で、仕事関係のお客様から勧められ、初めてサナモアに出会いました。腰と左臀部の痛みに始まり、徐々に足の先にも痛みとしびれが走り、ひどい時には、家から一キロも歩かないうちに、冷や汗をかき下肢に痛みを生じるような状態でした。新潟の中村先生に、一か月半治療して頂いた後、主人の転勤で神奈川県に帰ることとなったため、横浜の青木先生（故人）を紹介され、そこで治療を継続しました。五回目の治療

が終わった頃、腰痛が軽くなり、前方に曲がった腰を起こすことができた日は本当に感激致しました。ここに約半年通い、完治しましたが、サナモアに辿り着く前は、整形外科を転々としておりました。温めたり、引っぱりたりしたことによって、痛みがかえって悪化したり、鎮痛薬だけを処方された医院もありました。とにかく、この頃は常に腰が痛い状態が続いていて、不安でつらかったことを鮮明に覚えています。サナモアに出会えたことを本当に感謝しております。当時は子供が小さかったため、

すぐに仕事を始めることはできませんでしたが、自分自身の体験を通して、いつか同じような苦しみで悩んでいる方のために光線治療の仕事をしたいと考えたため、昨年の夏に治療師としてスタートしました。まだまだ治療経験は浅いのですが、知人を中心として、光線療法の良さを実感して頂いております。またサナモアは、家族の健康保持にも欠かせません。現在は、二台のサナモア八号器を使い、自宅で治療していますが、治療器を車に積んで出張治療も行っています。

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒 1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

第19回

日本療術学会から

青森県 古牧グランドホテル

平成19年10月21日・22日

シンポジウム

「高齢化時代と療術」



(財)全国療術研究財団
常務理事 宇都宮光明

高齢化時代
と光線療法

わが国は世界に例を見ない速さで高齢化時代に突入した。そのため高齢者が加齢に伴う身体・精神機能の低下を防いで良好な社会生活を営む健康状態を維持するアンチエイジング（抗加齢、抗老化）の情報が巷に満ち溢れている。

光線医学の立場のアンチエイ

ジングは、健康長寿に日光の恵みが欠かせないことを認識することと考えている。日光の恵みで知られているのは、必須栄養素のビタミンDを生成することであるが、紫外線で日焼けすることと同意である。医聖ヒポクラテスを始め数多の先達が日光療法に健康を増進し、自然治癒力を向上させる作用があると書き残しているが、サナモア光線療法はこの日光療法の流れから生まれた治療法である。

紫外線の必要性

紫外線を如何に必要としているか、環境の紫外線量に適切して肌色が進化したことから明らかである。アフリカに誕生した人類が、数百万年をかけて肌色を変えたのは、紫外線の恵みを受けるためである。日焼けは紫外線がメラニン形成細胞を刺激してメラニン色素を産生するためであるが、メラニン形成細胞の密度に肌色の違いによる差は

ない。寒帯に住む白人は少ない紫外線でビタミンDを生成するため日焼けしない。温帯に住む黄色人種はビタミンDを生成しながら過剰な紫外線から肌を守るため日焼けする。熱帯に住む黒人は強烈な紫外線から肌を守るため黒いが、黒くてもビタミンDの生成に支障がない。

なお紫外線のビタミンD生成能は70代で20代の半分になるため、容易にビタミンDは欠乏する。実際、高齢者の5割以上がビタミンD欠乏状態にあるとされている。

ビタミンD欠乏は
あらゆる病気の危険因子

卑近な例を挙げれば、ビタミンD欠乏は骨粗鬆症を悪化させ、筋組織を破壊し筋肉量を低下させるため筋力を保てなくなる。この筋力低下はビタミンD欠乏が解消すると改善するため、ビタミンD反応性ミオパチーと呼ばれるが、筋力が衰える高齢者

で顕著に現れ、容易に転倒、骨折し、誰もが恐れる寝たきりのリスクを高めるのである。

さてビタミンDにはカルシウム代謝調節作用と細胞分化誘導作用の二大作用がある。ビタミンDが欠乏するとカルシウムの吸収を阻害し排泄を促すため、骨からのカルシウムの溶出を促して骨粗鬆症を悪化させ、細胞内カルシウム濃度を上昇させ細胞内外の濃度差を保てなくカルシウムパラドックスを起こす。また細胞分化の受け皿になるビタミンD受容体は、小腸粘膜上皮細胞、副甲状腺主細胞、造骨細胞、腎臓の遠位尿管細胞のようにカルシウム代謝を調節する器官だけでなく、膝臓、下垂体、甲状腺、皮膚、胃、肝臓、胸腺、脳、骨髄、胎盤、悪性腫瘍細胞にあり、細胞分化を誘導する。すなわちビタミンDが充足されないと、骨粗鬆症、動脈硬化、高血圧、糖尿病、感染症、免疫異常、悪性腫瘍等々

の危険因子として作用するのである。

近年、流行語になったメタボリックシンドロームは、心筋梗塞、脳梗塞に罹患するリスクが高まる肥満、高脂血症、糖尿病、高血圧が集積した病態である。

ここで肥満、高脂血症予防の観点から、紫外線を浴びる意義について述べる。日光を浴びている人は筋肉の衰えはなく、肥満が非常に少ないことが多くの研究で確認されている。これは紫外線には甲状腺機能を亢進させる作用があり、新陳代謝を促してカロリー消費を増やすためと考えられている。血中脂質については、脂質を分解して、コレステロール、中性脂肪ともに低下させ、粥状硬化による循環不全を改善することが報告されている。

日光との共生

高齢化時代を迎え、健康寿命（五ページに続く）

(四ページより続く)

を保って限界寿命を生きる方策がさまざまな立場で論じられており、医学もまた老化を防止する方策を医学的に解明するとしている。しかし高齢者のQOL(生活の質)を阻害する足腰の衰えを医学が防げないことから自明であるが、医学は病気の治療が中心であって、そのまま健康高齢者に適応できるものでない。換言すれば健康寿命は与えられるものでなく、各人が考え実行することから始めなければならぬ。

光線医学の立場で言えば、日光の恩恵を信じ、日光と共生する生活をする中で生命の神秘的な能力を最大限に引き出すことである。サナモア光線療法は日光の恵みを再現する治療法として、健康・長寿の願いを叶える手助けをすることを述べ結びとする。

一般演題

卵巣腫瘍の 治療経験



社団法人 神奈川県療術師会
海渡一二三

目的

卵巣腫瘍と診断された患者に、病院の治療に併用する確約を得た上で、毎日継続してサナモア光線療法で治療した治療経験を報告する。

症例

【患者】 61歳 女性 主婦。
【主訴】 腹痛、腹部膨満感。
【起始経過】 腹痛で病院を受診。婦人科で左卵巣に握りこぶし大の卵巣腫瘍があり、右卵巣

に転移、腹水の貯留を指摘された。しかし患者に同行して来所した姉と姉の知人の話では、五つの病院で手術を断られたと言う。姉と知人は光線療法の愛用者で、当院で治療した癌患者を知っており、平成17年1月12日に光線療法を受けさせたいと来所した。その際、手術を断られたのは腹水が溜まっているからで、腹水が取れば手術できると言われたと言う。演者は患者サイドのたつての希望と腹痛を和らげ手術を受けられる状態にしたいと思い治療することにした。

【初診時所見】 患者はお腹が痛いと言いつつ押さえずに泣きながら来所した。顔色は青白く、時折咳き込み、食欲不振、下腹部の膨満感を訴えていた。

【既往歴】 特記すべきことなし。

療法ならびに経過

光線療法はBDカーボンを使い四台の治療器で多灯照射をし

た。一回の治療で約2時間照射したが、まず側臥位で下腹部に1時間、残りの三台で後頭部、膝裏、足裏を30分照射してから、背部、臀部、膝に30分照射した。次に仰臥位で左側腹部30分、右頸部に10分、右肩20分、次いで右側腹部30分、左頸部に10分、左肩20分照射してから、腹部と両膝に左右から30分照射した。なお当院の治療に併せて自宅でも光線療法をするように勧め、下腹部を中心に3時間以上照射するように指示した。

光線療法は時間を惜しまず行ったが、腹痛は快方に向かい、1月29日に患者がお腹の皮がむけたと言つので腹部を見たら、真っ白にべろっとむけていた。しかし痛みやかゆみはなく、症状が改善したので病院で検査するよう勧めたが、腹水が取れて手術が出来ると判断され、2月10日に8時間に及ぶ大手術を受け、主病巣は摘出された。

手術後に抗癌剤の副作用で薬

疹が出たため抗癌剤は中止、患者は病院から演者の治療院に通院し薬疹は改善した。退院後も病院に通院しながら当院の治療に自宅療法を併用して光線療法を継続したが、医師から同年11月16日に経過はすこぶる良好と告げられたため、同年12月に当院での治療を中断し、以後、自宅で光線療法を継続することにした。

結語

演者は悪性腫瘍患者の求めで光線療法を行う際、医師の管理下の補助療法として、時間を惜しまず長時間の多灯照射で行っているが、症状の改善を期待すると共に、生命体に備わった防衛的な反応を向上させる治療法として相乗効果が期待できると考えているからである。実際、QOLの改善、良好な術後経過など予想を超える効果を経験している。

治
験
例
報
告

慢性腎炎に対するサナモアの効果

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八三三二一三五八

症例 45歳 男性 会社員

症状 三年前に会社の健診にて慢性腎炎と診断され、以降、食事療法を中心とした生活指導と薬物療法にて経過観察となる。

医師からは、完治が難しい病気なので、これ以上悪くならないように注意することが重要と説明されていたが、二年後に扁桃腺炎がこじれ長引いたことをきっかけとして、再度、タンパク尿と血尿の悪化をきたす。しばらく通院加療しタンパク尿は改善傾向となったが、血尿が持続したため、サナモア愛用者の兄の勧めで来所した。

療法経過 治療は、初めBDカーボンで腰部を30分、腹部を20分照射。次にABカーボンとし、足裏20分、膝10分、ふくらはぎ10分、喉頭20分、後頭部10分の照射を施行した。翌日から、自

宅での光線治療を開始。同様の方法で行い、時間に余裕がある時には、一日に二回以上照射することを指示した。二か月後の検査では、尿タンパクをわずかに認めるも、経過は良好とのこと、三か月後には、以前より腎機能は回復傾向にあると説明を受けた。その後もサナモアを続けたところ、六か月後には、腎機能が安定しているという理

治
験
例
報
告

慢性関節リウマチをサナモアで治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九二五八一〇三九九
五七二一五七三

症例 45歳 女性

症状 サナモア愛用者。最近、

起床時の手のこわばりや手首等の関節痛を自覚するようになった

由から、診察は三か月に一度でよいこととなる。サナモアを始めてから、寝つきもよく、睡眠も十分にたれ、体調も良くなり、これまで感じていた腎臓病に対する不安感が薄れたことがうれしく、サナモアに感謝しながら毎日治療を続けている。

一言 今から六十七年前、当時、死因の一位が結核で、二位は腎臓病と言われていましたが、家族の一人が腎臓病を患い、複数の病院でお手上げの状態でした。この時、サナモア愛用者から光線療法を勧められて試したところ、著効を示し治療に至ったことが、ウエノ光線療研の原点であることを懐かしく思い出しました。

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株式会社東京光線療法研究所

ため病院で血液検査を受けたところ、リウマチと診断されたが、本人からサナモア光線療法で治したいと相談を受ける。

療法経過 治療は、BCカーボンで痛みの強い手を中心として、30分以上照射すること。ただし、痛みが強い時には、BBカーボンを使用し、痛みが消失するまで照射し、時間があれば、BCカーボンで、足裏、膝、腰部を各20分、ABまたはBDカーボンで、腹部を20分照射するよう

指示した。その後、二週間を過ぎて来所された時には、膝関節痛に対して、BCカーボンで照射したところ、即効性の鎮痛効果を実感することができ、サナモアを信じて続けていると話された。さらに三か月後に病院で行った検査では、リウマチに関連した数値がほとんど低下しており、手の症状も見違えるほど改善したとのこと、希望の光が見え、毎日が明るく過いせるようになったと大変喜ばれている。

治験例報告

S状結腸癌の

サナモア光線治療経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四一七二二五〇六七

症例 61歳 女性 主婦

症状 血便を認めたため、痔からの出血を疑い病院で検査を受けたところ、S状結腸癌(約6cm)と診断。本年1月に手術を施行し、術後の経過は良好であるが、患者は、癌と診断されてから当院を受診し、手術前の昨年12月から術後にかけてサナモア光線療法を続けている。

療法経過 初診時、患者は体格が良いように見えたが、むくみも認められた。はじめに、癌の治療は長期におよぶこと、治療時間は一回に四時間必要であることを説明した。治療にはBDカーボンを使用。四台の光線治療器を用いて、連日の全身照射を開始した。最初は右側臥位に

て下腹部を2時間照射してから、左側臥位とし下腹部を2時間照射。この間、他の三台で、顔面、臀部、足裏と後頭部、腰部、膝の照射を施行。次に、仰臥位として、両側の肩、腰、膝を左右

治験例報告

サナモアでぶどう膜炎を治療

埼玉県朝霞市

あさか治療院
麻生 律子氏報告

TEL 〇四八四二四四七八二

症例 44歳 女性

症状 六年前にぶどう膜炎と診断され、一年間通院し軽快したが、九か月前に再発。投薬および点眼治療などを再開したが、一向に改善しないため、友人の

から15分ずつ照射した。治療を開始してすぐ、むくみが軽減したことから、患者および家族はサナモアの効果を確信したようである。治療を継続することができた。術前から術後にかけて、光線療法を行うことで、患者の全身状態を良好に保てたことに、改めてサナモア光線療法の効果を感じたが、今後も、医師をサポートする立場で、癌患者の治療に貢献していく所存である。

紹介で来院した。

療法経過 側臥位にて全身照射を施行。足裏40分(AA)、膝40分(AB)、腰部40分(AD)40分(BD)、後頭部10分(BD)、眼部30分(BD)にて開始。二回目

の治療終了後に、病院を受診したところ、眼部の注射とステロイドの点眼が不要と言われ、現在では、右目はほぼ完全に治り、左目も自動車の運転が可能なる程度にまで改善している。

考察 初診時には、ぶどう膜炎から硝子体の濁りを生じ、

全自動光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む

光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきましました。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさん

物がかすんで見える状態であったが、サナモア光線療法が著効を示し、視力を回復した。ぶどう膜炎は再発を繰り返し、その度に視力を低下させる病気で、ることから、これからも継続的に治療が必要と考えている。

で、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

サナモア光線療法 体験記

サナモアで流感にも

かからず過ごしています

神戸市 松本 英美子様

毎日の日課として、サナモア光線療法を一時間半ほど全身に照射しておりますおかげで、流感にも感染することなく、元気に過ごしております。本当に助かっています。三年前、娘が子宮内膜症にかかった時も、お薬を一切服用しないで、サナモアだけで完治することができました。これからも、末永く、サナ

モアを続けていきたいと思っています。

夫婦でサナモアを

愛用しています

弘前市 木村 修三様

毎日夫婦でサナモアを使っています。私は、リウマチで痛む指、手首、膝などの関節に当てています。サナモアを照射すると、不思議と痛みは和らいでいくので、本当に助かっています。妻も皮膚の湿疹に使っており、良くなっているようです。

これからも、年季の入ったサナモア八号器を使い続けたいと思っておりますので、今後ともよろしく、お願い致します。

手指の関節の痛みに

サナモアを使っています

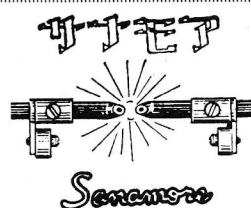
室蘭市 寺島 世津様

数か月前から、両方の親指のつけ根などの関節が痛み、家事

にも支障を生じてきたため、サナモアで治そうと思い、一か月前にサナモアを始めました。毎日かけているうちに、家事の際に感じていた痛みも和らぎ、字を書く時にも、親指に力が入れるようになってきています。日中はあれこれと忙しいので、夜落ち着いた時に、手と肩と足裏など、全体で一時間位照射しています。もう少しで、更に良くなりそうに思いますのでまたお知らせします。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものではありません。ついては体験記をお送りください。また、ご希望いたします。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行、二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL(03) 三七九三―五二八二
三七二一―五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)